



# 幼稚園だより

令和6年度  
1月号

令和7年1月8日  
文京区立湯島幼稚園  
園長 前田 宏子

## 節目の年

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

今年は巳年。十干でいうと乙（きのと）になるそうです。よって、今年は乙巳（きのとみ）。乙（きのと）は木の要素をもち、草木がしなやかに伸び、横へ広がっていく意味があるそうです。また巳（み・へび）は脱皮を繰り返すことから復活と再生のシンボルとされています。この二つが合わさると「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になると考えられるそうです。今年の湯島幼稚園は変化の年です。3月までのこの地での生活と4月からの新しい生活が始まる年です。

令和7年は昭和でいうと100年。戦後80年になるそうです。節目の年であると感じます。日本では80年前に戦争が終わり、平和な国を作るべくたくさんの方が考え、行動をしていきました。だれもが争うことを好んでいっているわけではないと思いますが、今なお、世界ではたくさんの争いが後を絶ちません。節目の年だからこそ、考える機会を与えられているのではないかと思います。

本園も節目の年となります。今までの湯島幼稚園の歴史を振り返ると、どの時代も子どもを真ん中にして考えてきた生活がありました。子どものために一番良いことは何かを考え、教員と保護者が一緒に歩んできました。修了児やその保護者の方の話や聞きとしみじみとその歩みを感じます。

時代は変化していきます。生活の仕方も変わっていきます。開園当初の45年前には考えられないことが今の生活にはたくさんあります。（この園だよりも手書きで書いた紙を印刷して配布することが当たり前だった頃から大きく変化して、今や電子配布になっていますから！）しかし、子どもを真ん中にして生活をするという本園の考えは変わっていません。そしてこれからも幼稚園は子どもを真ん中にして生活をしていくという根っこの部分を大切にしていきたいと思います。

3学期が始まります。短い学期ですが、1年間のまとめの時期になります。毎日を大切に過ごしていきたいと思います。

保護者、地域の皆様には今年も本園の教育にご理解、ご協力をお願いいたします。